

内垣内下排水路改修工事

図面リスト		
図面番号	図面名称	縮尺
A-1	表紙・図面リスト	-
2	特記仕様書-1	-
3	特記仕様書-2	-
4	配置図	1/200
5	外構計画平面図	1/100
6	外構詳細図-1	1/10.20
7	外構詳細図-2	1/10.20
8	プール廻り撤去平面図	1/100
9	撤去詳細図	1/50.100

		日付	変更事項	図面番号 10002	内垣内下排水路改修工事
図面1					縮尺 1 / - 図面番号 01 / -
図面2					共同設計株式会社 ■大阪 大阪市北区西天満5丁目10番14号 /06-6364-0636 ■東京 東京都中央区月町1丁目5番地 /03-3350-6636
					一般建築士登録 第93611号 代表取締役 飯田 精三

内垣内下排水路改修 工事設計図	平成 22年 3月 (全 枚)
-----------------	-----------------

仕様書

I 工事概要

1. 工事場所	京都府経喜郡井手町大字多賀小字内垣内20地
2. 敷地面積	6557.35㎡
3. 工事種目	内垣内下排水路改修工事 舗装工事 排水工事 撤去工事

4. 工事範囲

※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。
 ・「3. 工事種目」のうち_____の工事範囲は下記表のとおりとする。ただし、その他の工事種目はすべて今回工事範囲とする。

2 仮設工事	
3 土工	
4 地業工事	
5 鉄筋工事	
6 コンクリート工事	
7 鉄骨工事	
8 コンクリートブロック・ALCパネル ・押出成形セメント板工事	
9 防水工事	
10 石工事	
11 タイル工事	
12 木工	
13 屋根及びとい工事	
14 金属工事	
15 左官工事	
16 建具工事	
17 カーテンウォール工事	
18 塗装工事	
19 内装工事	
20 ユニット及びその他の工事	

II 建築工事仕様

- 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成19年版）」（以下「標準」という。）による。
- 特記仕様

(1) 項目は、番号に ○ 印の付いたものを適用する。
 (2) 特記事項は、○ 印の付いたものを適用する。
 ○ 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
 ○ 印と○印の付いた場合は、ともに適用する。
 (3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
 (4) 特記事項に記載の（別 ）は、標仕の「別図 各部配筋」の当該項目又は当該表を示す。
 (5) 特記事項に記載の（別2- ）は、標仕の「別図2 ホルト間隔等及び浴接継手の開先形状」の当該項目を示す。
 (6) ☐印は「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）」の特記調達品目を示す。

章	項目	特記事項
1 一般共通事項	① 適用基準等	○建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修 平成17年版） ○工事写真の撮り方（改訂第2版）建築編（建設大臣官房官庁営繕部監修） ○建築物解体工事共通仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成18年版） ・
	2 工事実績情報の登録	※適用する (1.1.4)
	③ 品質計画等	・建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。 ※風速 $V_0 = (32)$ m/s (平12建令第1454号第2) ※地表面粗度区分 I・II・III・IV ・積雪区分 平12建令第1455号 別表() ・
	4 電気保安技術者	工事現場における電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。 ・要 ・不要 (1.3.3)
	⑤ 施工条件	下記以外は現場説明書による。 ○工事用車両の駐車場所 ※図示 ○資機材置場 ※図示 ○建設発生土仮置場 ※図示 ・ ※図示 (1.3.5)
	⑥ 発生材の処理等	※現場説明書による ・構外搬出適切処理 (1.3.8)
	⑦ 環境への配慮	化学物質を放散させる建築材料等 本工事の建物内部に使用する材料等は、設計図書に定める所要の品質及び性能を有するものとし、次の(1)から(5)を満たすものとする。 (1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ウリア樹脂板、仕上塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 (2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 (3) 接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 (4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 (5) (1)、(3)及び(4)の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 また、設計図書に定める「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする。
	⑧ 材料の品質等	ホルムアルデヒド放散量 該当する材料 規制対象外 ① JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ② 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③ 下記表示のあるJAS規格品 a. 接着剤等不使用 b. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 f. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 第三種 ① JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ② 建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品 (1.4.2)
	9 特別な材料の工法	標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。

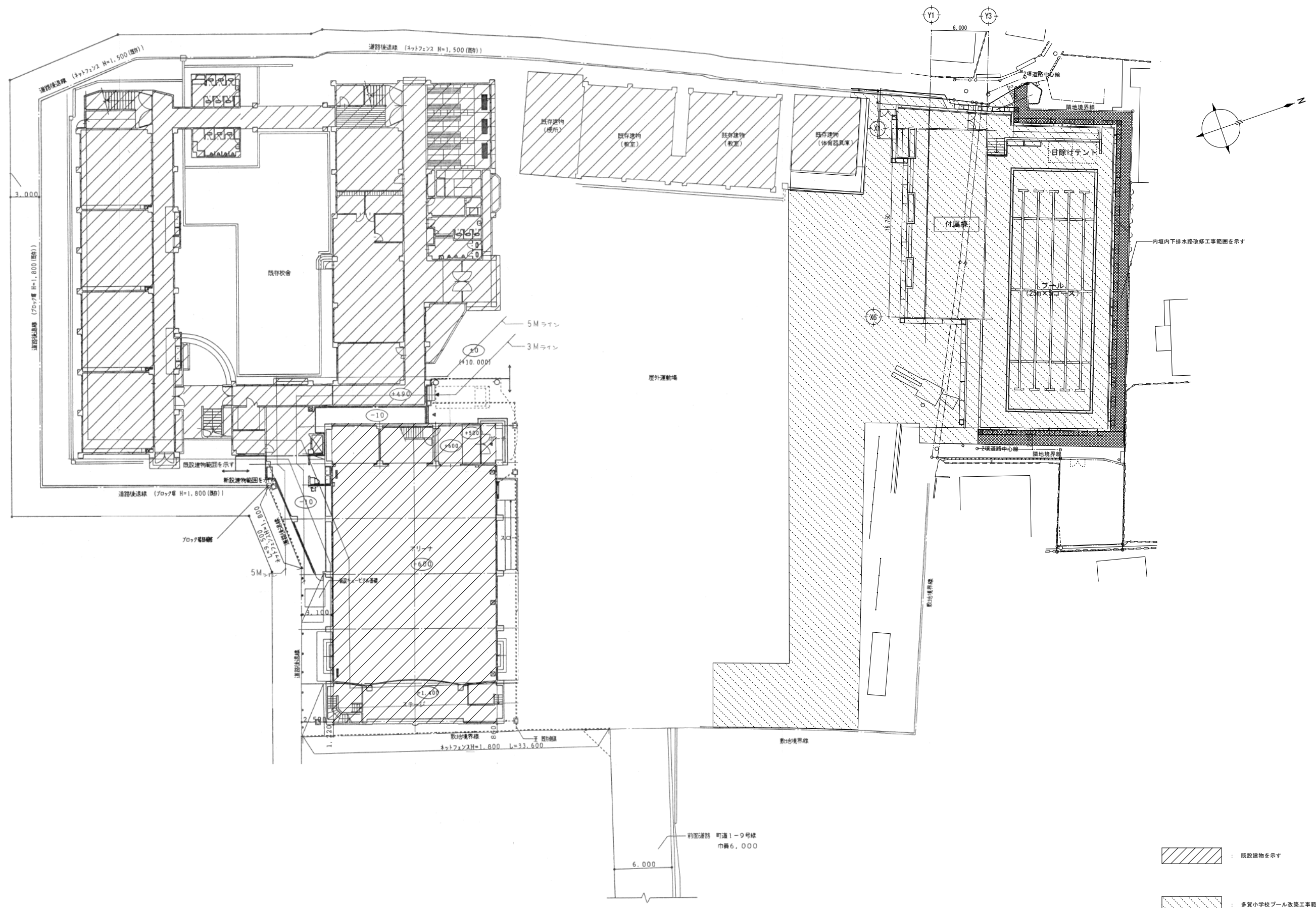
10 技能士	適用工事種別	技能検定作業 (1.5.2)	
	仮設工事	・とび作業	
	鉄筋工事	・鉄筋組立作業	
	コンクリート工事	・型枠工事作業 ・コンクリート圧送工事作業	
	鉄骨工事	・構造物鉄工作業 ・とび作業	
	コンクリートブロック ・ALCパネル	・コンクリートブロック工事作業 ・エーエルシーパネル工事作業	
	押出成形セメント板工事	・	
	防水工事	・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴムシート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシート工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業	
	石工事	・石張り作業	
	タイル工事	・タイル張り作業	
木工	・木工作業		
屋根及びとい工事	・内外装板金作業 ・スレート工事作業		
金属工事	・鋼製地下工事作業 ・内外装板金作業		
左官工事	・左官作業		
建具工事	・ビル用サッシ工事作業 ・ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業		
カーテンウォール工事	・金属製カーテンウォール工事作業 ・ビル用サッシ施工作業 ・ガラス工事作業		
塗装工事	・建築塗装作業		
内装工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・塗装作業		
排水工事	○建築配管作業		
舗装工事	・溶融ペイントハンドマーカー工事作業 ・加熱ペイントマシンマーカー工事作業		
積載工事	・造園工事作業		
11 化学物質の濃度測定	施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、報告する。 測定はハッシュ型採取機器により行う。 着工前の測定 ※行わない 測定対象室 ・図示 測定箇所数 ・図示 報告の様式等については、現場説明書による。	(1.5.9)	
	⑫ 完成時の提出図書	(1.7.1~3) (表1.7.1)	
	⑬ 完成写真	※完成図 提出部数 ※各2部 ※施工計画書 提出部数 ※1部 ※施工図 提出部数 ※1部 ※保全に関する資料 提出部数 ※2部 次のものを監督職員に提出する。ただし、原板は撮影業者の保管とする。 分類・規格 撮影部数 提出部数 原板の大きさ (mm) ○カラー ※キャビネ板 外部 (5) 内部 (5) ※2 ※100×125以上 外観正面 (※1・) ※5 ・ カラー四切木製パネル 外部 () 内部 () ※2 ・ カラー半切木製パネル 外部 () 内部 () ※2 ・ 電子データ 外部 () 内部 () ※2 ※500万画素以上 撮影業者は、建築完成写真撮影の実績がある者で、監督職員が承諾する者とする。 電子データは、RGB (フルカラー)、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出する。	
	⑭ 設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。	
	⑮ 設計GL	※図示	
	2 仮設工事	1 監督職員事務所	規模及び仕上げの程度は現場説明書による。 (2.3.1)
		② 工事用水	構内既存の施設 ※利用できない ○利用できる (※有償・無償) (2.3.1)
		③ 工事用電力	構内既存の施設 ※利用できない ○利用できる (※有償・無償) (2.3.1)
	3 土工	① 埋戻し及び盛土	種別 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 (3.2.3) (表3.2.1) ・建設汚泥から再生した処理土
		② 建設発生土の処理	※現場説明書による ・構内指定場所に堆積 ・構外搬出適切処理 ・構内指定場所に敷均し (3.2.5)

4 地業工事	1 既製コンクリート杭地業	種類 ※適心力高強度プレストレストコンクリートくい (PHG杭) (4.3.2) 寸法及び継手 試験杭 本杭 先端部形状 ※開放形 杭の継手 建築基準法に基づく指定機関において性能評定を受けた無溶接継手を 使用してもよい。 杭頭の処理 ※切断しない 施工法 ・特定埋込杭工法 ・平13国交令第1113号第6による支持力算定式で $\alpha=250$ 程度を採用できる工法 ・平13国交令第1113号第6による支持力算定式で $\alpha=()$ 、 $\beta=()$ 、 $\gamma=()$ を採用できる工法 工法 ・プレボーリング拡大根囲の工法 杭周固定液 ・使用しない	
	2 場所打ちコンクリート杭地業	鉄筋の種類 5章鉄筋工事1鉄筋による (4.5.3) セメントの種類 高炉セメントB種 (4.5.3) コンクリートの種別及び設計基準強度 ()種、かつ、() N/mm ² 以上 (4.5.3) (表4.5.1) 掘削工法 ・アースドリル工法 (安定液使用 ・無水掘削) (4.5.4.5) ・リバース工法 ・オルケシング工法 (孔内の水張り ・行う ・行わない) ・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 ・拡底杭工法 (安定液使用 ・) ・	
	③ 砂利地業	孔壁測定 ・行う () ・行わない (4.5.4.5)	
	4 床下防湿層	材料 ※再生クラッシュラン ・切込砂利及び切込砕石 (4.6.2) 施工箇所 ※建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下 (ピット下を除く) (4.6.5)	
	5 鉄筋工事	① 鉄筋	鉄筋の種類 (5.2.1) (表5.2.1) 種類の記号 呼び名 (mm) ○SD295A ※D16以下 ・SD345 ※D19以上 ・ ・
		2 溶接金網	網目の形状、寸法等 (5.2.2) 網目の形状、寸法等 (縦×横) (mm) 鉄線の径又は呼び名 (mm) 規格 ※100×100 ※6.0 ・ JIS 6 3551による ・
		③ 鉄筋の継手及び定着	継手方法等 (5.3.4) (5.4.1) (5.5.1) 部 位 継手方法 呼び名 (mm) 柱、梁の主筋 ※ガス圧接 ・機械式継手 その他の鉄筋 () ※重ね継手 ○D16以下
		鉄筋の重ね継手の長さ	※鉄筋の重ね継手の長さは、建築基準法施行令第73条による。 (図示) (5.3.4) ・
		鉄筋の定着長さ	※鉄筋の定着長さは、建築基準法施行令第73条による。 (図示) (5.3.4) ・
		④ 鉄筋のかぶり厚さ	鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは目地處から算定する。 (5.3.5) (表5.3.6) ・耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。
5 既製コンクリート杭の杭頭補強		施工箇所 横仕表5.3.6の値に加える寸法 (mm) ・柱、梁、壁及び庇等の外気に接する打放し面 ※10 ・	
6 最上階柱頭補強		※図示 (別-2.1)	
7 帯筋		組立の形の種別 ※H形 (口は除く) (別-2.2)	
8 壁開口部の補強		一般壁 ・A形 ※B形 耐震壁 ※図示 (別-4.2) (別-表4.3.4)	
9 梁貫通孔の補強	補強形式 ※H形 配筋種別 ※図示 (別-7.1) (別-表7.1~3)		
10 機械吊上げ用フック	・A種 () 箇所 ・B種 () 箇所 ・C種 () 箇所 (別-7.3)		
11 圧接完了後の試験	採取試験 ※超音波探傷試験 ・引張試験 (5.4.9)		

図号	日付	変更事項	設計番号	10002
図訂1				
図訂2				
内垣内下排水路改修工事 特記仕様書 - 1 共同設計株式会社 〒600-0001 大阪府大阪市北区西成区5丁目10番14号 TEL: 06-6364-5330 FAX: 06-6364-5336 〒600-0001 大阪府大阪市東区南船場1丁目1番1号 TEL: 06-6364-5330 FAX: 06-6364-5336 代表取締役 藤田 隆三				

6 コンクリート工事	① コンクリートの強度	<p>普通コンクリートの設計基準強度 (6.1.4)</p> <table border="1"> <tr><th>設計基準強度f_c (N/mm²)</th><th>適用箇所</th></tr> <tr><td>・ 21</td><td>建物躯体 (建物内土間コンクリートを含む)</td></tr> <tr><td>○18</td><td></td></tr> </table> <p>軽量コンクリートの設計基準強度等 (6.1.4) (6.11.1) (表6.11.1) (6.11.3)</p> <table border="1"> <tr><th>設計基準強度f_c (N/mm²)</th><th>気乾単位容積質量 (t/m³)</th><th>種別</th><th>適用箇所</th></tr> <tr><td>・ 21</td><td></td><td>・ 1種 ・ 2種</td><td></td></tr> <tr><td>・</td><td></td><td>・ 1種 ・ 2種</td><td></td></tr> </table>	設計基準強度 f_c (N/mm ²)	適用箇所	・ 21	建物躯体 (建物内土間コンクリートを含む)	○18		設計基準強度 f_c (N/mm ²)	気乾単位容積質量 (t/m ³)	種別	適用箇所	・ 21		・ 1種 ・ 2種		・		・ 1種 ・ 2種		21 排水工事	① 排水管	<p>排水管用材料 (21.2.1) (表21.2.1) (21.3.3)</p> <table border="1"> <tr><th>材種</th><th>管の種類</th><th>管形状 (接合方法)</th></tr> <tr><td>※遠心力鉄筋コンクリート管</td><td>※外圧管 (※1種 ・ 2種)</td><td>・ B形 (ゴム接合)</td></tr> <tr><td>○硬質塩化ビニル管</td><td>※VP ・ VU ・ RS-VU ・ RF-VP</td><td></td></tr> </table> <p>車道部の排水管の敷設 (21.3.1) (21.3.3)</p> <p>※図示 ・ 砂基礎 (地表面高さ20cm以上 材料 山砂の類)</p>	材種	管の種類	管形状 (接合方法)	※遠心力鉄筋コンクリート管	※外圧管 (※1種 ・ 2種)	・ B形 (ゴム接合)	○硬質塩化ビニル管	※VP ・ VU ・ RS-VU ・ RF-VP		22 舗装工事	1 盛土に用いる材料	<p>種別 ・ A種 ※B種 ・ C種 ・ D種 (22.2.3) (表3.2.1)</p>	23 舗装工事	2 道断面及び凍上抑制層の材料	<p>・ 道断面 ※川砂、海砂又は良質な山砂 (22.2.2.3)</p> <p>厚さは図示</p> <p>・ 凍上抑制層 ※再生クラッシュラン ・ クラッシュラン ・ 切込砂利 ・ 砂</p> <p>厚さは図示</p>	24 舗装工事	3 路床安定処理	<p>※添加材料による安定処理 (22.2.2.3) (表22.2.2)</p> <p>種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ フライアッシュセメントB種</p> <p>・ 生石灰 () ・ 消石灰 ()</p> <p>添加量 () kg/m³ (目標CBR ※5以上 ())</p>	25 舗装工事	4 路床土の支持力比 (CBR) 試験	※行う (22.2.5)	26 舗装工事	5 路床締固め度の試験	※行う (22.2.5)	27 舗装工事	6 砂の粒度試験	※行う (22.2.5)	28 舗装工事	⑦ 路盤材料	<p>※再生クラッシュラン (RC-40) (22.3.3)</p> <p>・ クラッシュラン (C-40) 又はクラッシュランスラグ (CS-40)</p>	29 舗装工事	8 路盤の締固め度試験	※行う (22.3.5)	30 舗装工事	⑨ アスファルト舗装	<p>(22.4.2) (表22.4.1)</p> <table border="1"> <tr><th>舗装の種類</th><th>車道部の基層</th><th>カラー舗装の種類</th></tr> <tr><td>※アスファルト舗装</td><td>※なし ・ あり</td><td>※顔料混入加熱アスファルト混合物</td></tr> <tr><td>・ カラー舗装</td><td>※なし ・ あり</td><td>・</td></tr> </table> <p>アスファルト ※再生アスファルト ・ ストレートアスファルト (22.4.3)</p> <p>カラー舗装の着色骨材 ・ 有色骨材 (焼成) ・ 着色骨材 (樹脂被覆)</p> <p>加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4) (表22.4.6)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>※一般地域</th><th>・ 寒冷地域</th></tr> <tr><td>表層</td><td>※密粒度アスファルト混合物 (13)</td><td>※密粒度アスファルト混合物 (13F)</td></tr> <tr><td>・ 細粒度アスファルト混合物 (13)</td><td>・ 密粒度ギャップアスファルト混合物 (13F)</td><td></td></tr> <tr><td>基層</td><td>・ 粗粒度アスファルト混合物 (20)</td><td></td></tr> </table> <p>シールコート ※行わない ・ 行う (施工範囲:) (22.4.5)</p> <p>アスファルト混合物等の抽出試験 ※行わない ・ 行う (22.4.6)</p>	舗装の種類	車道部の基層	カラー舗装の種類	※アスファルト舗装	※なし ・ あり	※顔料混入加熱アスファルト混合物	・ カラー舗装	※なし ・ あり	・	区分	※一般地域	・ 寒冷地域	表層	※密粒度アスファルト混合物 (13)	※密粒度アスファルト混合物 (13F)	・ 細粒度アスファルト混合物 (13)	・ 密粒度ギャップアスファルト混合物 (13F)		基層	・ 粗粒度アスファルト混合物 (20)		31 舗装工事	⑩ コンクリート舗装	<p>早強セメント ※使用しない ・ 使用する (22.5.3)</p> <p>注入目地材料 ※低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ (22.5.3) (表22.5.3)</p> <p>溶接金網 ※あり ・ なし (22.5.3.4)</p> <p>厚さ試験 ※行わない ・ 行う (22.5.6)</p>	32 舗装工事	11 透水性 アスファルト舗装	<p>アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・ 行う (22.6.6) (22.4.6)</p>	33 舗装工事	12 排水性 アスファルト舗装	<p>アスファルト混合物 (22.7.3) (表22.7.2)</p> <p>・ 改質アスファルト I 型 ※改質アスファルト II 型</p> <p>タックコート用ゴム入りアスファルト乳剤の種類 ※PKR-T (22.7.3) (表22.7.3)</p> <p>アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・ 行う (22.7.6)</p>	34 舗装工事	13 ブロック系舗装	<p>・ コンクリート平板舗装 (JIS A 5371による) (22.8.2.3)</p> <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>寸法 (mm)</th><th>厚さ (mm)</th><th>目地材</th></tr> <tr><td>※普通平板 (N)</td><td>※300角</td><td>※60</td><td>※砂</td></tr> <tr><td>・ 透水平板 (P)</td><td>・</td><td>・</td><td>・ モルタル</td></tr> </table> <p>・ インターロッキングブロック舗装 (JIS A 5371による) (22.8.2.3)</p> <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>厚さ (mm)</th><th>色彩及び表面加工等</th></tr> <tr><td>※普通ブロック (N)</td><td>車道部 ※80 ・</td><td>※標準品</td></tr> <tr><td>・ 透水性ブロック (P)</td><td>歩道部 ※60 ・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・ 誘導、注意喚起用ブロック</td><td></td><td>誘導、注意喚起用は黄色系とする</td></tr> <tr><td>・ 植生用ブロック (V)</td><td>※80 ・ 100</td><td></td></tr> </table> <p>・ 鋪石舗装 (22.8.2.3)</p> <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>厚さ (mm)</th><th>施工方法</th><th>基層</th></tr> <tr><td>※小鋪石 (花こう岩)</td><td>※80~100 ・</td><td>※うろこ張り</td><td>※コンクリート舗装</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・ アスファルト舗装</td></tr> </table> <p>JIS K 5665 (路面標示用塗料) による</p> <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>施工</th><th>適用</th><th>色</th><th>塗布幅 (mm)</th><th>塗布厚さ (mm)</th><th>揮発性有機溶剤の含有率</th></tr> <tr><td>・ 1種</td><td>常温</td><td>液状</td><td>※白</td><td>※150</td><td>※1.0</td><td>塗料総質量に対して</td></tr> <tr><td>・ 2種</td><td>加熱</td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>5%以下</td></tr> <tr><td>※3種1号</td><td>溶解</td><td>粉体状</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	種別	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材	※普通平板 (N)	※300角	※60	※砂	・ 透水平板 (P)	・	・	・ モルタル	種別	厚さ (mm)	色彩及び表面加工等	※普通ブロック (N)	車道部 ※80 ・	※標準品	・ 透水性ブロック (P)	歩道部 ※60 ・	・	・ 誘導、注意喚起用ブロック		誘導、注意喚起用は黄色系とする	・ 植生用ブロック (V)	※80 ・ 100		種別	厚さ (mm)	施工方法	基層	※小鋪石 (花こう岩)	※80~100 ・	※うろこ張り	※コンクリート舗装	・	・	・	・ アスファルト舗装	種別	施工	適用	色	塗布幅 (mm)	塗布厚さ (mm)	揮発性有機溶剤の含有率	・ 1種	常温	液状	※白	※150	※1.0	塗料総質量に対して	・ 2種	加熱		・	・	・	5%以下	※3種1号	溶解	粉体状					35 舗装工事	14 路面標示用塗料	
	設計基準強度 f_c (N/mm ²)	適用箇所																																																																																																																																																																
	・ 21	建物躯体 (建物内土間コンクリートを含む)																																																																																																																																																																
	○18																																																																																																																																																																	
	設計基準強度 f_c (N/mm ²)	気乾単位容積質量 (t/m ³)	種別	適用箇所																																																																																																																																																														
	・ 21		・ 1種 ・ 2種																																																																																																																																																															
	・		・ 1種 ・ 2種																																																																																																																																																															
	材種	管の種類	管形状 (接合方法)																																																																																																																																																															
	※遠心力鉄筋コンクリート管	※外圧管 (※1種 ・ 2種)	・ B形 (ゴム接合)																																																																																																																																																															
	○硬質塩化ビニル管	※VP ・ VU ・ RS-VU ・ RF-VP																																																																																																																																																																
舗装の種類	車道部の基層	カラー舗装の種類																																																																																																																																																																
※アスファルト舗装	※なし ・ あり	※顔料混入加熱アスファルト混合物																																																																																																																																																																
・ カラー舗装	※なし ・ あり	・																																																																																																																																																																
区分	※一般地域	・ 寒冷地域																																																																																																																																																																
表層	※密粒度アスファルト混合物 (13)	※密粒度アスファルト混合物 (13F)																																																																																																																																																																
・ 細粒度アスファルト混合物 (13)	・ 密粒度ギャップアスファルト混合物 (13F)																																																																																																																																																																	
基層	・ 粗粒度アスファルト混合物 (20)																																																																																																																																																																	
種別	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材																																																																																																																																																															
※普通平板 (N)	※300角	※60	※砂																																																																																																																																																															
・ 透水平板 (P)	・	・	・ モルタル																																																																																																																																																															
種別	厚さ (mm)	色彩及び表面加工等																																																																																																																																																																
※普通ブロック (N)	車道部 ※80 ・	※標準品																																																																																																																																																																
・ 透水性ブロック (P)	歩道部 ※60 ・	・																																																																																																																																																																
・ 誘導、注意喚起用ブロック		誘導、注意喚起用は黄色系とする																																																																																																																																																																
・ 植生用ブロック (V)	※80 ・ 100																																																																																																																																																																	
種別	厚さ (mm)	施工方法	基層																																																																																																																																																															
※小鋪石 (花こう岩)	※80~100 ・	※うろこ張り	※コンクリート舗装																																																																																																																																																															
・	・	・	・ アスファルト舗装																																																																																																																																																															
種別	施工	適用	色	塗布幅 (mm)	塗布厚さ (mm)	揮発性有機溶剤の含有率																																																																																																																																																												
・ 1種	常温	液状	※白	※150	※1.0	塗料総質量に対して																																																																																																																																																												
・ 2種	加熱		・	・	・	5%以下																																																																																																																																																												
※3種1号	溶解	粉体状																																																																																																																																																																
② レディーミクストコンクリートの類別	<p>類別 ※ I 類 ・ II 類 (6.1.5) (6.4.1.2) (表6.1.1)</p>	2 鋼鉄製ふた	<p>(21.2.2)</p> <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>適用荷重 (安全荷重 (kN))</th><th>鍵</th></tr> <tr><td>・ 水封形</td><td>・ T-2用 (5)</td><td>・ あり</td></tr> <tr><td>・ 簡易密閉形 (パッキン式)</td><td>・ T-6用 (15)</td><td>・ なし</td></tr> <tr><td>・ 密閉形 (テーパ・パッキン式)</td><td>・ T-20用 (50)</td><td></td></tr> <tr><td>・ 中ふた付き密閉形 (テーパ・パッキン式)</td><td>・</td><td></td></tr> </table>	種別	適用荷重 (安全荷重 (kN))	鍵	・ 水封形	・ T-2用 (5)	・ あり	・ 簡易密閉形 (パッキン式)	・ T-6用 (15)	・ なし	・ 密閉形 (テーパ・パッキン式)	・ T-20用 (50)		・ 中ふた付き密閉形 (テーパ・パッキン式)	・		3 グレーチング	<p>(21.2.2)</p> <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>形式</th><th>用途</th><th>適用荷重</th><th>メインバーピッチ</th><th>上面形状</th></tr> <tr><td>・ 鋼製</td><td>※受枠付き</td><td>・ 溝ふた (横断用)</td><td>○砂行用</td><td>※細目</td><td>※凹凸形</td></tr> <tr><td>○ステンレス製</td><td>・</td><td>○溝ふた (側溝用)</td><td>・ T-2用</td><td>※普通目</td><td>※凹凸形</td></tr> <tr><td>○硬質PVC製</td><td>ボトム固定</td><td>・ 溝ふた用</td><td>・ T-6用</td><td>・ 細目</td><td>・ 凹凸形</td></tr> <tr><td></td><td>※なし</td><td>・ かさ上げ用</td><td>・ T-14用</td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>・ 固定</td><td>・ U字溝用</td><td>・ T-20用</td><td></td><td></td></tr> </table>	種別	形式	用途	適用荷重	メインバーピッチ	上面形状	・ 鋼製	※受枠付き	・ 溝ふた (横断用)	○砂行用	※細目	※凹凸形	○ステンレス製	・	○溝ふた (側溝用)	・ T-2用	※普通目	※凹凸形	○硬質PVC製	ボトム固定	・ 溝ふた用	・ T-6用	・ 細目	・ 凹凸形		※なし	・ かさ上げ用	・ T-14用				・ 固定	・ U字溝用	・ T-20用			④ 埋戻し土	<p>(21.2.3) (表3.2.1)</p>																																																																																																								
種別	適用荷重 (安全荷重 (kN))	鍵																																																																																																																																																																
・ 水封形	・ T-2用 (5)	・ あり																																																																																																																																																																
・ 簡易密閉形 (パッキン式)	・ T-6用 (15)	・ なし																																																																																																																																																																
・ 密閉形 (テーパ・パッキン式)	・ T-20用 (50)																																																																																																																																																																	
・ 中ふた付き密閉形 (テーパ・パッキン式)	・																																																																																																																																																																	
種別	形式	用途	適用荷重	メインバーピッチ	上面形状																																																																																																																																																													
・ 鋼製	※受枠付き	・ 溝ふた (横断用)	○砂行用	※細目	※凹凸形																																																																																																																																																													
○ステンレス製	・	○溝ふた (側溝用)	・ T-2用	※普通目	※凹凸形																																																																																																																																																													
○硬質PVC製	ボトム固定	・ 溝ふた用	・ T-6用	・ 細目	・ 凹凸形																																																																																																																																																													
	※なし	・ かさ上げ用	・ T-14用																																																																																																																																																															
	・ 固定	・ U字溝用	・ T-20用																																																																																																																																																															
③ スランプ	<p>スランプ (6.2.3)</p> <table border="1"> <tr><th>スランプ (cm)</th><th>適用箇所</th></tr> <tr><td>※18</td><td>○ F L 上</td></tr> <tr><td>○15</td><td>○ F L 下</td></tr> </table> <p>工作物のスランプ 15又は18cm</p>	スランプ (cm)	適用箇所	※18	○ F L 上	○15	○ F L 下	⑤ セメント	<p>セメントの種類 (6.3.2) (6.13.2) (6.16.2) (表6.3.1)</p> <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>適用箇所</th></tr> <tr><td>※普通ポルトランドセメント</td><td>下記以外のすべて</td></tr> <tr><td>又は混合セメントのA種</td><td></td></tr> <tr><td>・ 高炉セメントB種</td><td>1FLより下部 (立上り部を含む)</td></tr> <tr><td>・ フライアッシュセメントB種</td><td></td></tr> </table> <p>普通ポルトランドセメントは、JIS R 5210に示された規定のほか、水和熱が7日目で352 J/g以下、かつ、28日目で402 J/g以下のものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。</p>	種別	適用箇所	※普通ポルトランドセメント	下記以外のすべて	又は混合セメントのA種		・ 高炉セメントB種	1FLより下部 (立上り部を含む)	・ フライアッシュセメントB種		⑥ 骨材	<p>細骨材及び混合細骨材 (6.3.3)</p> <p>・ フェロニッケルスラグ細骨材 使用部位 ()</p> <p>・ 鋼スラグ細骨材 使用部位 ()</p> <p>・ 電気炉酸化スラグ細骨材 使用部位 ()</p> <p>砂利及び砂のアルカリシリカ反応性による区分 ※A ・ B (6.3.3)</p> <p>碎石及び砕砂のアルカリシリカ反応性による区分 ※A ・ B (6.3.3)</p>	⑦ 混和材料	<p>種類 ※混和剤 ・ 混和材 (6.3.5)</p> <p>混和材料の使用量 ※標仕6.4.8(a), (b), (c)による (6.4.8)</p>	8 無筋コンクリート	<p>設計基準強度等 (6.14.1~3)</p> <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>設計基準強度 (N/mm²)</th><th>スランプ (cm)</th><th>粗骨材の最大寸法 (mm)</th><th>適用箇所</th></tr> <tr><td>※普通コンクリート</td><td>※18</td><td>※15又は18</td><td>※25</td><td></td></tr> <tr><td>・ 軽量コンクリート</td><td>・</td><td>・</td><td>・ 20</td><td></td></tr> </table> <p>セメントの種類</p> <p>※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種</p> <p>・ 高炉セメントB種 (捨コンクリート)</p>	種別	設計基準強度 (N/mm ²)	スランプ (cm)	粗骨材の最大寸法 (mm)	適用箇所	※普通コンクリート	※18	※15又は18	※25		・ 軽量コンクリート	・	・	・ 20		9 コンクリート躯体表面の処理	<p>外装タイルあと張り面の躯体表面の処理</p> <p>MCR工法を行う場合は、せき板面にMCR工法用気泡ポリエチレンシート張りとし、仕上り面凹凸状態とする。 (6.9.3.4)</p> <p>目尻工法 (高圧水洗) を行う場合は、水圧50N/mm²以上、かつ、2.5分/m²以上とし、施工計画書を監督に提出し承諾を受ける。また、目尻の状態は、事前に監督職員に承諾を受ける。 (15.2.4)</p> <p>コンクリートの増打ち厚さ ※20mm</p> <p>※施工範囲は図示による。</p>	10 断熱材兼用型枠	<p>適用及び適用箇所は、19章内装工事10断熱材による。 (6.9.4)</p>																																																																																																																						
スランプ (cm)	適用箇所																																																																																																																																																																	
※18	○ F L 上																																																																																																																																																																	
○15	○ F L 下																																																																																																																																																																	
種別	適用箇所																																																																																																																																																																	
※普通ポルトランドセメント	下記以外のすべて																																																																																																																																																																	
又は混合セメントのA種																																																																																																																																																																		
・ 高炉セメントB種	1FLより下部 (立上り部を含む)																																																																																																																																																																	
・ フライアッシュセメントB種																																																																																																																																																																		
種別	設計基準強度 (N/mm ²)	スランプ (cm)	粗骨材の最大寸法 (mm)	適用箇所																																																																																																																																																														
※普通コンクリート	※18	※15又は18	※25																																																																																																																																																															
・ 軽量コンクリート	・	・	・ 20																																																																																																																																																															

図名	日付	変更事項	図号	10002	内場内排水路改修工事
図訂1			縮尺	1/A	特記仕様書-2
図訂2			図番	03	共同設計株式会社
			事務所	大阪府北区西天満5丁目10番14号	大阪支店 大阪府東区南船場1丁目1番1号
			代表取締役	高野 隆三	代表取締役

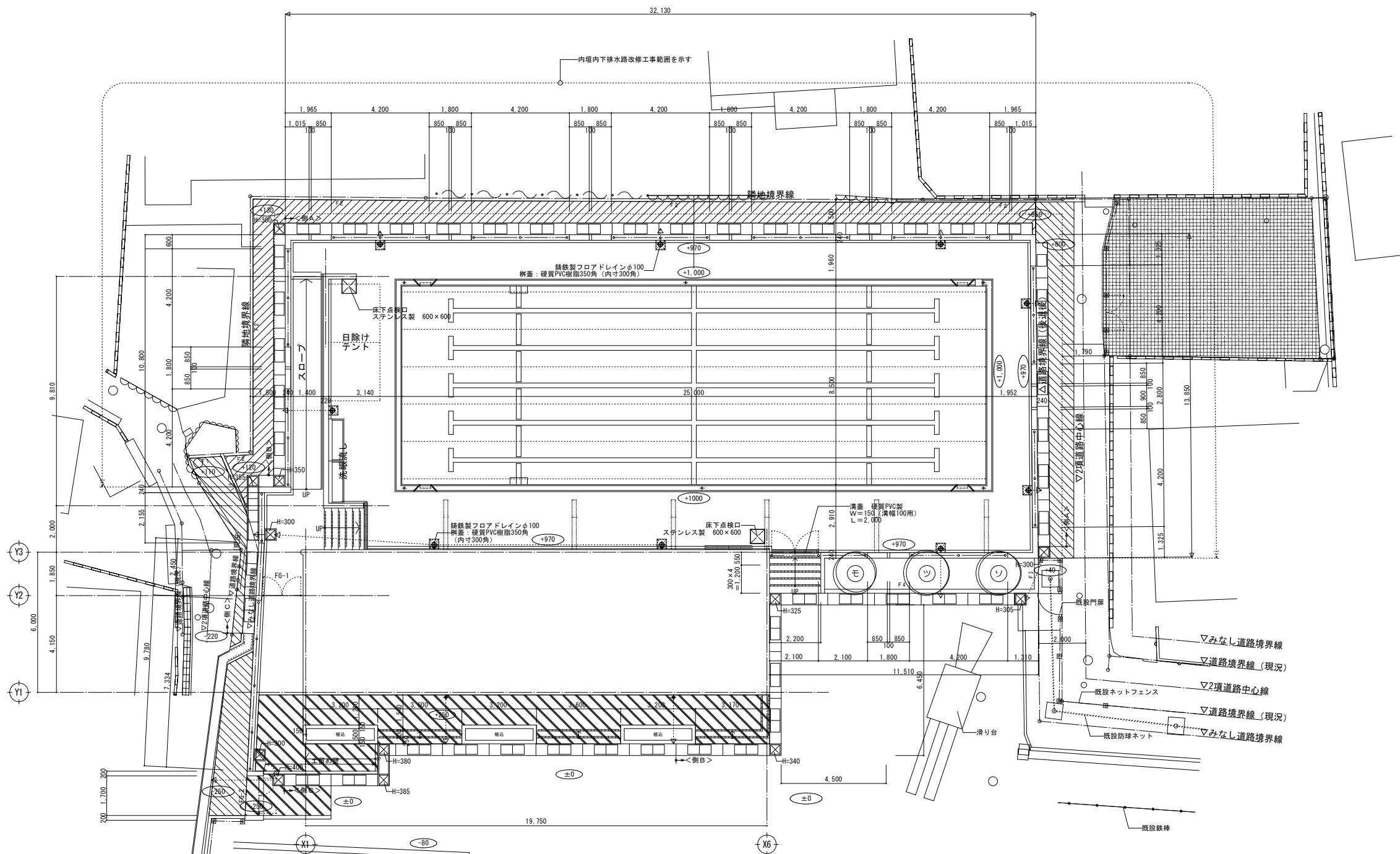


配置図

- : 既存建築物を示す
- : 多賀小学校プール改修工事範囲を示す

※遊具移設位置については、学校関係者・監督職員と協議の上、決定すること。

図名 配圖図		縮尺 1/200	図幅 A	図番 04
設計者 共同設計株式会社		事務所 大阪府大阪市西淀川区丁目10番14号 〒106-8364-0836		
設計1 設計2		代表取締役 藤田 三		
図号 10002		図名 内堀内下排水路改修工事		

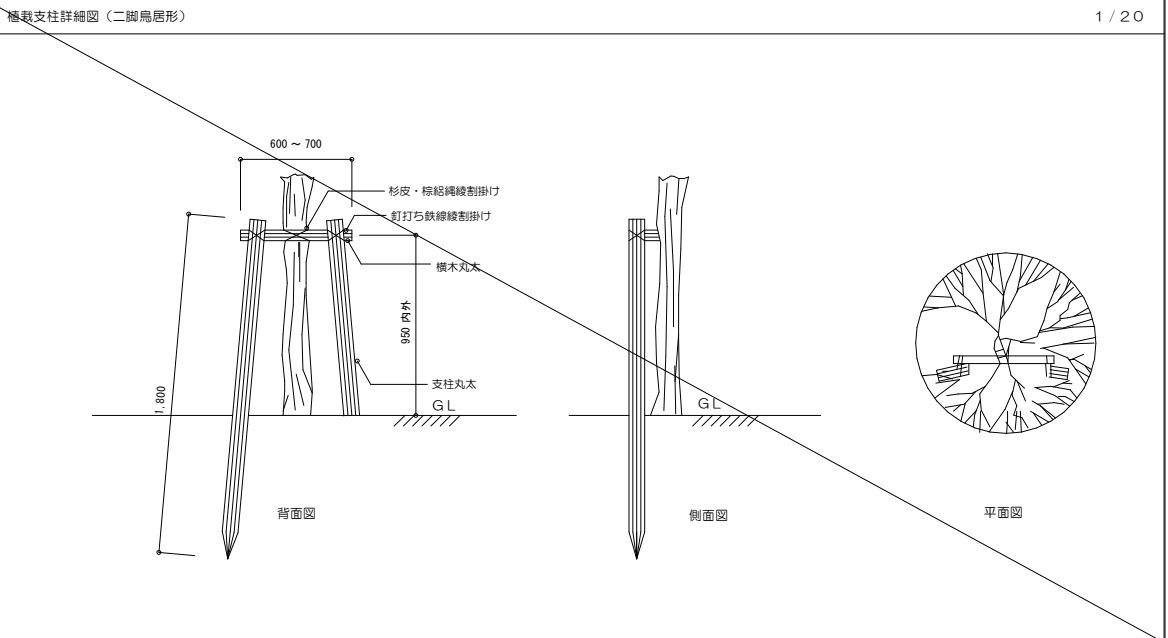
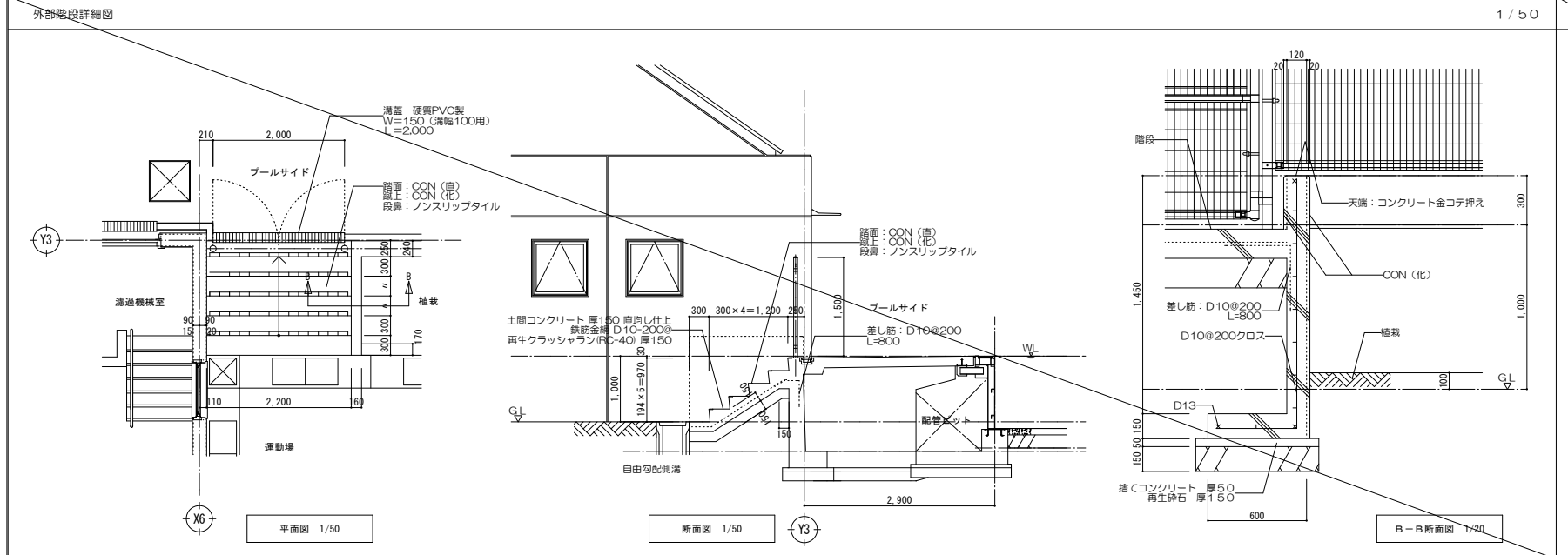
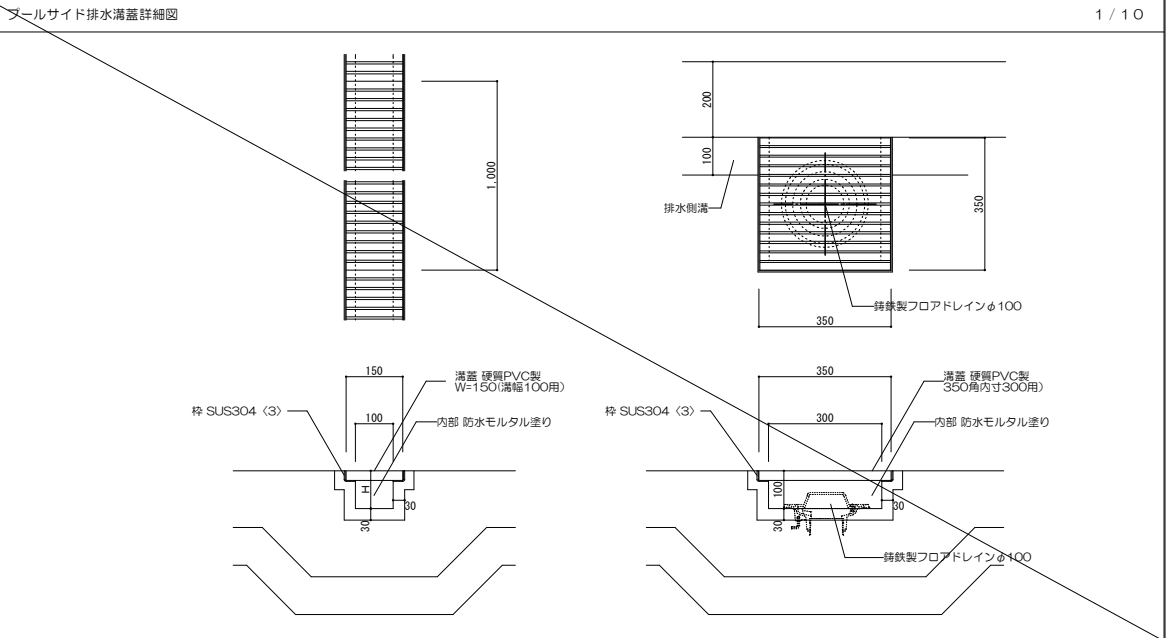
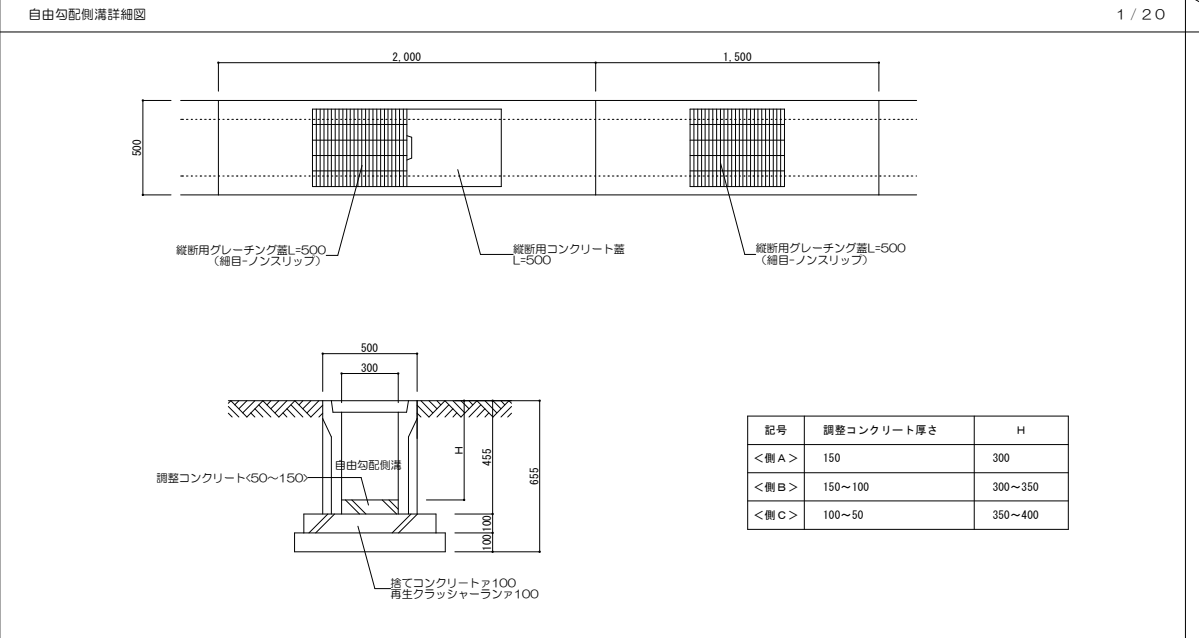
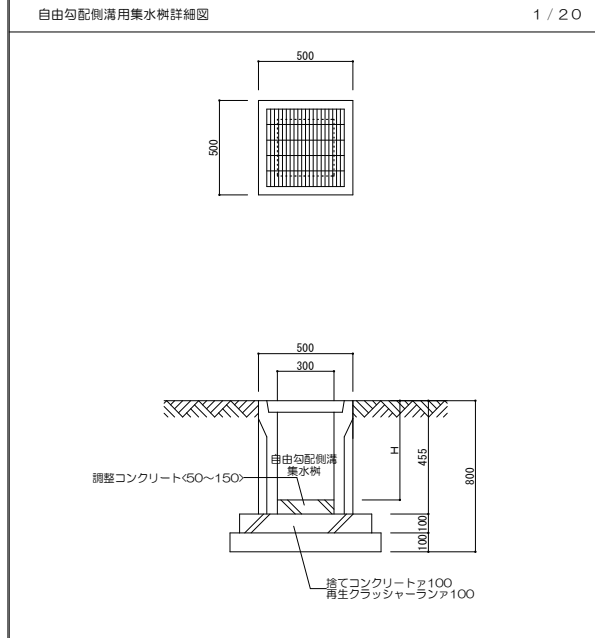
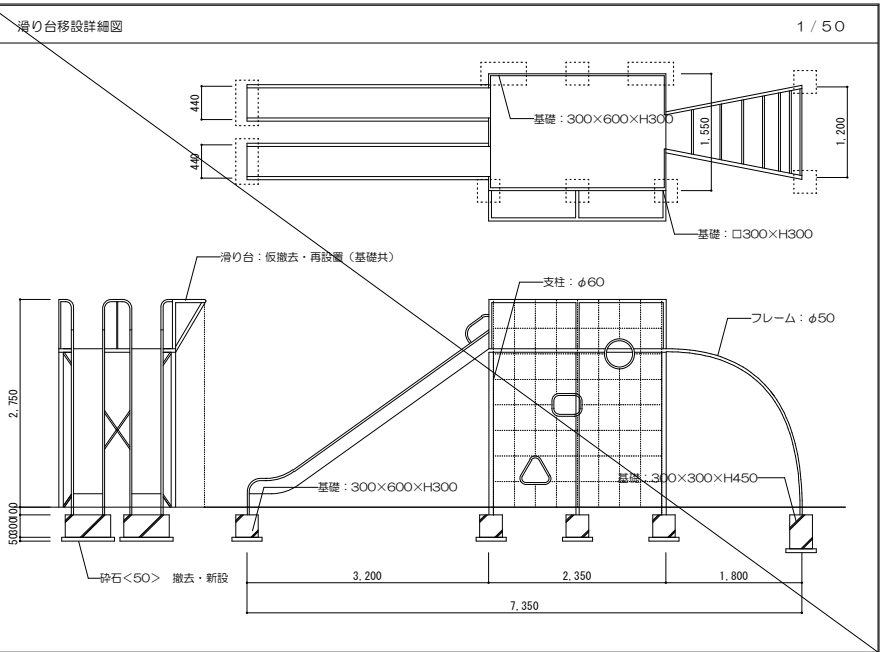
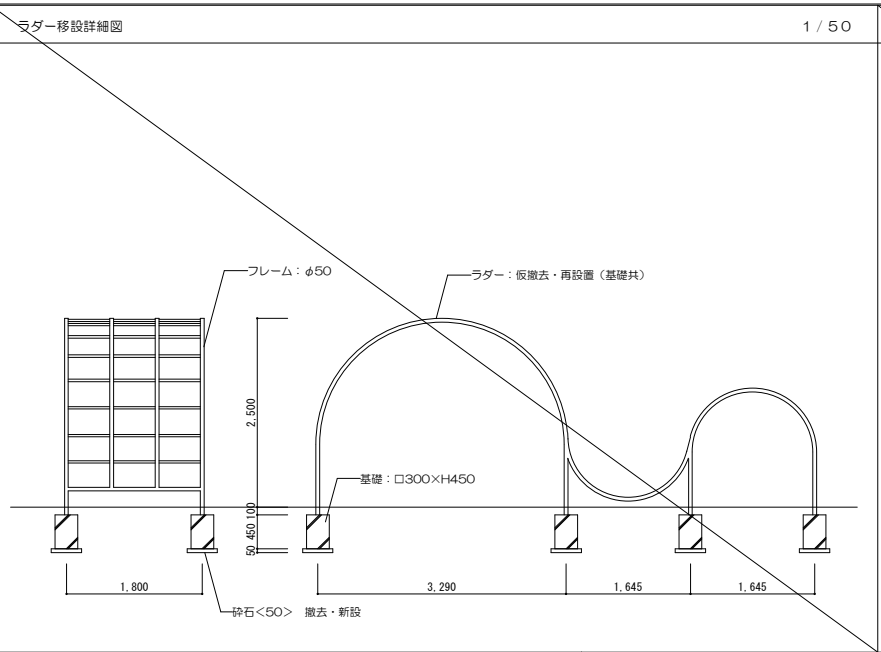
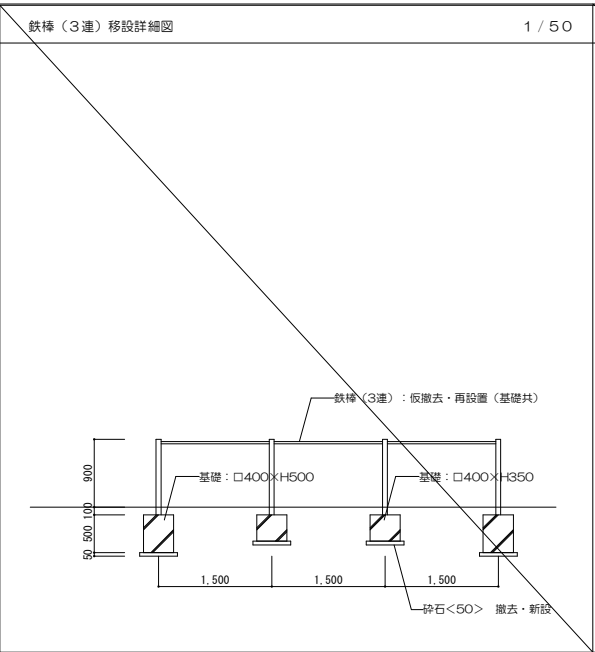
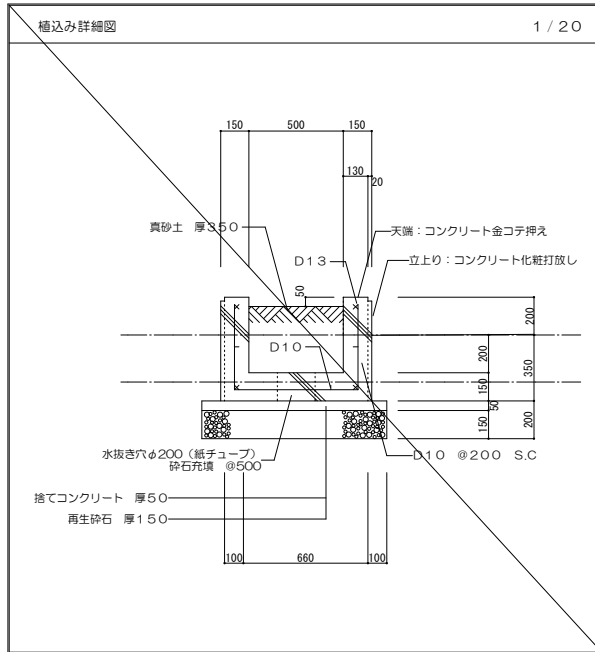


植栽凡例

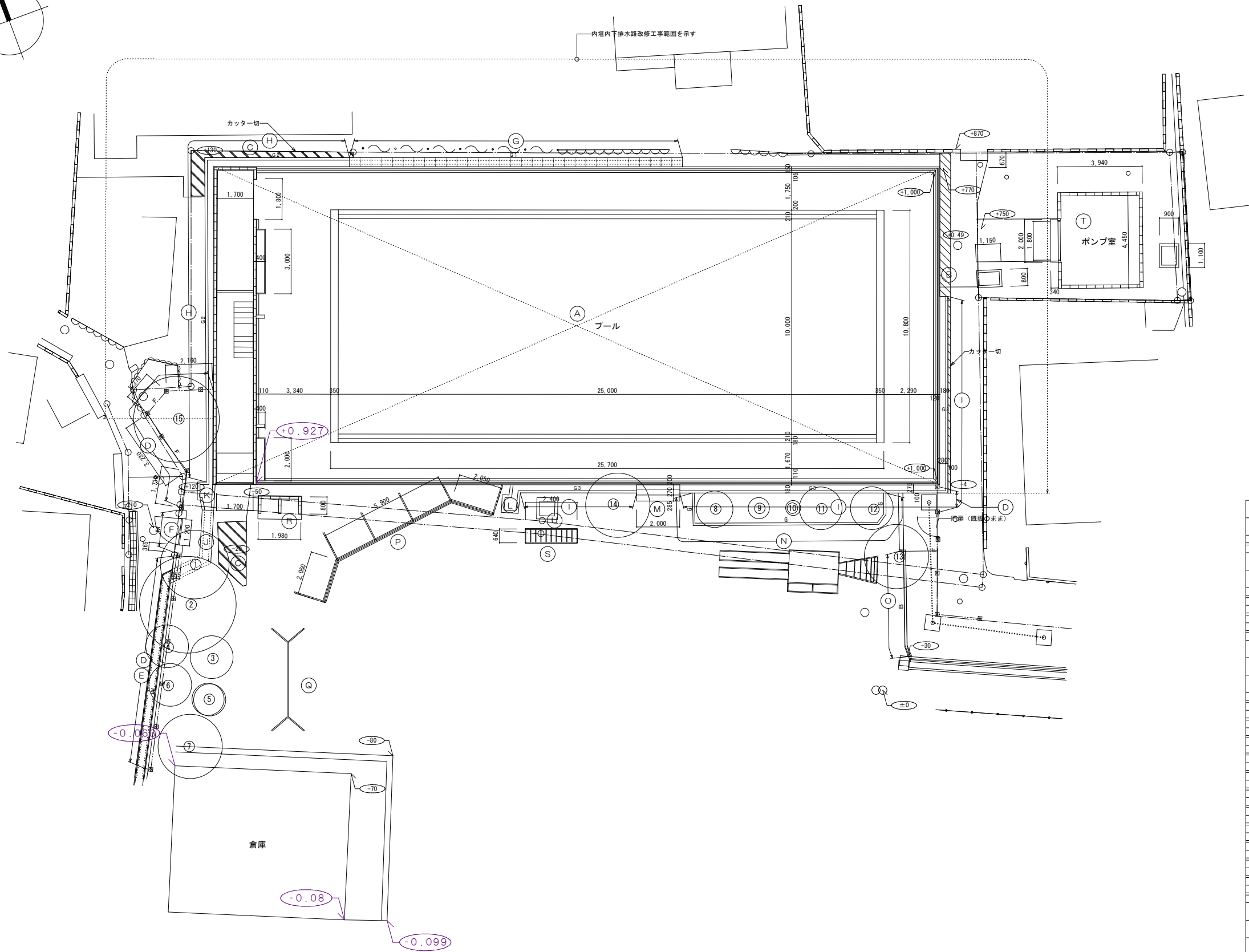
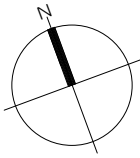
記号	項目	形状寸法			数量 (本)	支柱型	備考
		H	C	W			
ソ	ソメイヨシノ	2.50	0.10	0.80	1	二脚鳥居形	
ツ	ヤブツバキ	1.50	-	0.4	1	二脚鳥居形	
モ	イロハモミジ	2.50	0.12	1.00	1	二脚鳥居形	

外構工事凡例

記号	項目	備考
[斜線]	アスファルト舗装	密閉型アスコン A-5-15 (合材・路盤材=再生材) 詳細図参照
[斜線]	アスファルト舗装	密閉型アスコン A-3-10 (合材・路盤材=再生材) 詳細図参照
[斜線]	コンクリート舗装	土間コンクリート<150> CON(画) 詳細図参照
[格子]	整地	
F-1	地先境界ブロック-A	地先境界ブロックW150×H150×L600 詳細図参照
F-2	地先境界ブロック-B	地先境界ブロックW150×H150×L600 詳細図参照
F-3	縁石ブロック-A	縁石ブロックW150/170×H200×L600 詳細図参照
F-4	縁石ブロック-B	縁石ブロックW150/170×H200×L600 詳細図参照
BF	目隠しフェンス	スチール製 H=1,500 支柱間2,000 詳細図参照
MF-1	メッシュフェンス-1	スチール製 H=1,500 支柱間2,000 (基礎天面に設置) 詳細図参照
MF-2	メッシュフェンス-2	スチール製 H=1,500 支柱間2,000 (CON基礎1800×H450) 詳細図参照
FN	ネットフェンス	スチール製 H=1,500 支柱間2,000 (CON基礎1800×H450) 詳細図参照
FG-1	メッシュフェンス扉-1	W=1,600 H=1,500 (高開き) (CON基礎3000×H600) 詳細図参照
FG-2	メッシュフェンス扉-2	W=1,500 H=1,500 (高開き) (CON基礎3000×H600) 詳細図参照
FG-3	ネットフェンス扉	W=1,500 H=1,500 (高開き) (CON基礎3000×H600) F-1に準ずる
FG-4	メッシュフェンス扉-3	W=2,000 H=1,500 (高開き)
[枠]	自由勾配溝	溝幅=300 詳細図参照
[枠]	自由勾配溝会所	溝幅=300、引き出し寸法は側溝底レベルを示す。 詳細図参照
[管]	雨水配水管	VPφ150



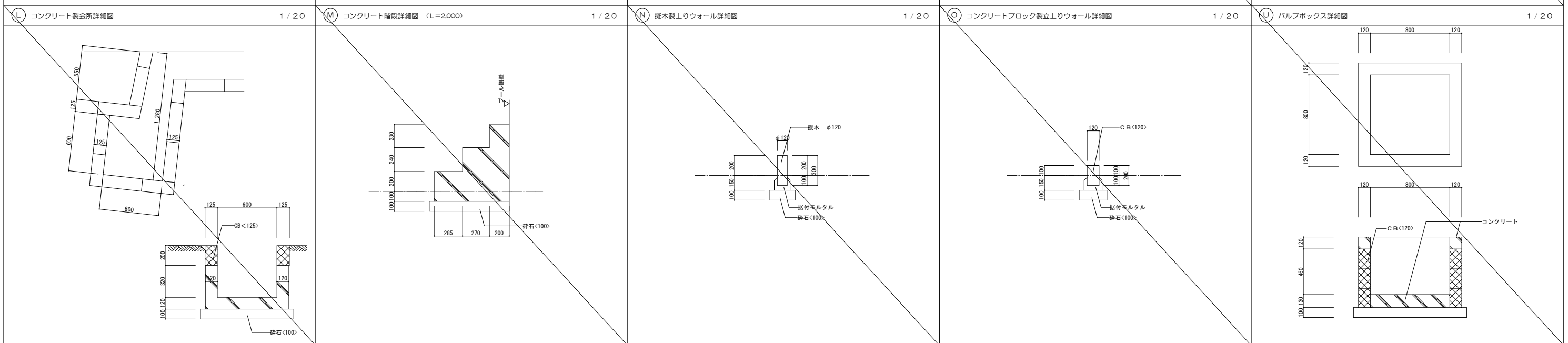
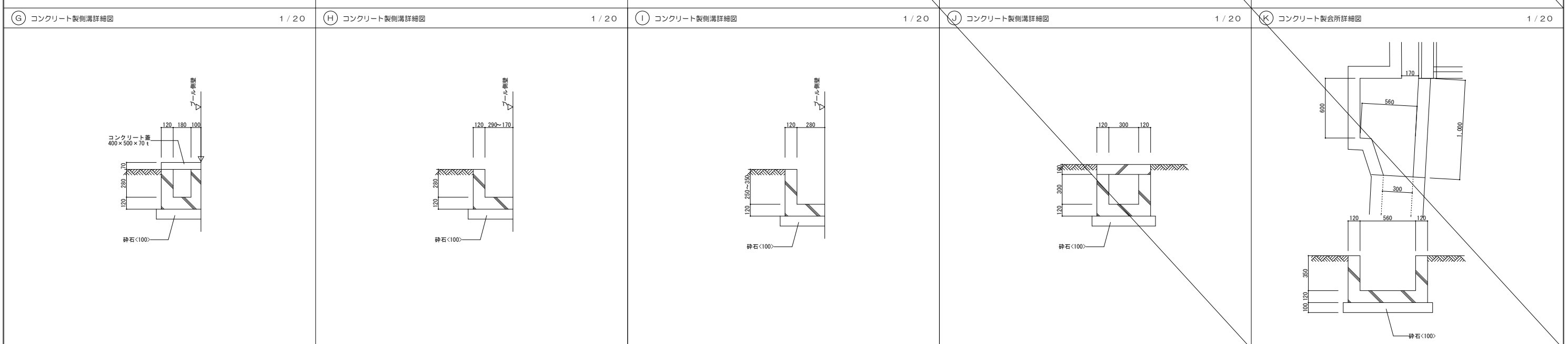
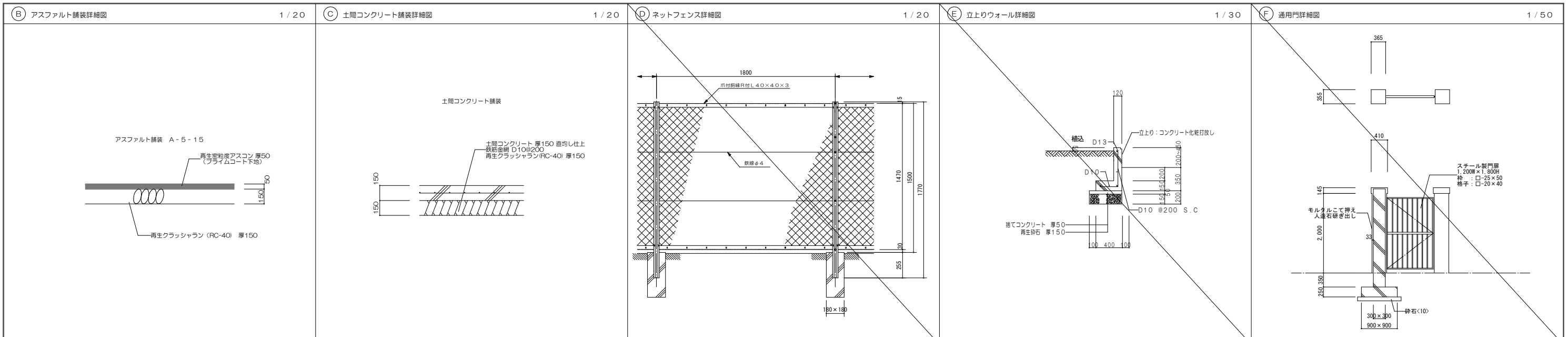
図名	外構詳細図-2	縮尺	1/20.50	図号	A	図番	07
設計者	共同設計株式会社						
代表取締役	藤田 三						
〒100-0001	東京都千代田区千代田1-1-1						
TEL	03-3250-5830						
FAX	03-3250-5830						



図号	樹種	樹高	目通り	葉張り
①	カイズカイブキ	3000	180	3200
②	松	7000	350	4500
③	ヒマヤラスギ	2500	150	2000
④	カイズカイブキ	5000	170	2000
⑤	マサキ	1000	150	1500
⑥	ヒマヤラスギ	3000	160	2000
⑦	杉	7000	230	3000
⑧	ヒマヤラスギ	3500	160	1700
⑨	松	3700	140	1000
⑩	ヒマヤラスギ	400	-	700
⑪	松	4500	150	2000
⑫	ヒマヤラスギ	4000	120	2000
⑬	ヒマヤラスギ	5000	170	3000
⑭	松	5000	180	3000
⑮	松	5000	260	4000

撤去リスト		
記号	項目	備考
(A)	既設プール：撤去	プール機、プールサイド、塩化機、白鉄けんとフレーム、既設池しきり壁、既設プール部分の撤去（詳細図参照）
(B)	アスファルト舗装：撤去	アスファルト舗装：撤去 A-5-15 詳細図参照
(C)	コンクリート舗装：撤去	土間コンクリート<150>：撤去 詳細図参照
(D)	ネットフェンス：撤去	スチール製、H=1,500、支柱φ2,000 (CON製、1800xH450H) 詳細図参照
(E)	コンクリート立上りウォール：撤去	コンクリート製立上りウォールH=200~450、W=120 詳細図参照
(F)	遮光門：撤去	スチール製門扉、コンクリート製門柱 詳細図参照
(G)	G1 コンクリート製側溝：撤去	コンクリート製側溝 詳細図参照
(H)	G2 コンクリート製側溝：撤去	詳細図参照
(I)	G3 コンクリート製側溝：撤去	詳細図参照
(J)	G4 コンクリート製側溝：撤去	詳細図参照
(K)	コンクリート製側溝：撤去	
(L)	コンクリート製側溝：撤去	
(M)	コンクリート製側溝：撤去	
(N)	G 木製立上りウォール：撤去	コンクリート製立上りウォールH=200、φ=120程度 詳細図参照
(O)	B 木製立上りウォール：撤去	木製立上りウォールH=10、W=120 詳細図参照
(P)	パルクネット：撤去	詳細図参照
(Q)	プランコ：撤去	詳細図参照
(R)	砂置床：撤去	詳細図参照
(S)	露床：撤去	詳細図参照
(T)	ポンプ室：撤去	詳細図参照
(U)	バルブBOX：撤去	詳細図参照

図名	内垣内下排水路改修工事	図号	10002
縮尺	縮尺 1/100	図種	08
設計者	共同設計株式会社	〒100-0001 東京都千代田区千代田1-9-1	TEL 03-5561-5830
承認者	代表取締役 藤田 三	TEL 03-5561-5830	



内垣内下排水路改修工事		図名	撤去詳細図	縮尺	1/20	図号	A	図番	09
設計者		共同設計株式会社							
設計1		〒大阪 大阪市北区西成区南5丁目10番14号							
設計2		〒大阪 東淀川区東元町19番地							
一般建築士登録		第93611号							
代表取締役		藤田 三							
TEL		06-6364-5836							
FAX		03-3320-5836							